

3. わが国のコウヨウザン林分

コウヨウザンは単木では北は青森県十和田湖畔にあります。林分としては、図 3-1 に示すように、北は茨城県から南は沖縄県まで、全国 21 箇所に主な林分が所在し、それらはほぼ照葉樹林帯にあります(山田・安部 2017、近藤 2020)。いずれも成林しており、周囲のスギ、ヒノキに比べて成長が優れているところがほとんどです。林内では実生更新はほとんどみられず、林外の日当たりの良い場所で芽生えがみられますがその後大きくなるものはあまり多くありません。また、コウヨウザンは針葉樹の中では希な旺盛な萌芽力を有し、伐根や立木の根元からよく萌芽しますが、ニセアカシアやヤマナラシのように根萌芽で林地を水平に広がることは観察されていません。なお、コウヨウザン林ではスギ林やヒノキ林に比べて表土の移動量が少ないことから、より高い表土保全効果があることが推察されています(渡辺ほか 2018)。

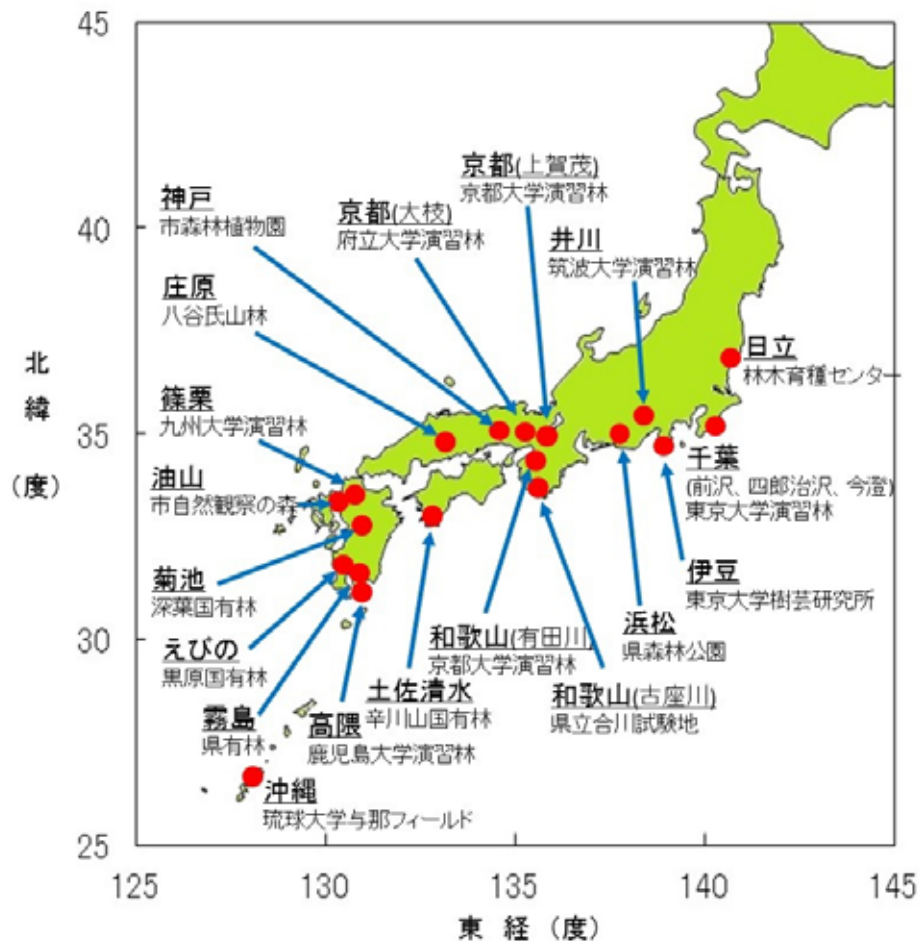


図 3-1 おもなコウヨウザン林分

(近藤: 山林 No.1633(2020)より引用)

(近藤)